

CLOSE UP 経営方針

当社グループで定めている「8つの経営方針」のなかから、ひとつをご紹介します。

文：鶴澤 泰功（代表取締役社長）



#5

革新的であり続ける。住宅産業を再定義し続ける

昨今、トレンドの変化は激しく、企業は変化に追随するだけでは生き残れなくなっています。

戦後つくられた日本の社会システムは、社会保障制度など様々な分野で時代の変化に合わない歪みが大きくなっており、企業経営においても事業が陳腐化するスピードが増しています。この荒波の中で企業は「再定義」という視点を持ち、新しい価値を生む「革新」が不可欠だと、当社グループでは考えています。

住宅に関する社会情勢に目を向けると、近年、資材価格高騰などを背景にマンション・戸建て問わず住宅価格が高騰し、下がる気配はありません。実質賃金が上昇しないなか「新築住宅は高すぎて買えない」という消費者心理が顕在化し、新築住宅の着工戸数は減少。これまで注文住宅の建設を担ってきた中小住宅事業者は苦しい状況に追い込まれています。

住宅建設という産業が生き残るためには、日本人の

所得を上げるか、建設コストを大幅に下げるしかないでしょう。実現可能性が高いのは後者ですが、すでに業界内で行われているDX化などのコストダウン対策を講じても、それを上回るインフレにより中小住宅事業者の薄利や赤字は深刻化しています。

商慣習や構造が複雑な住宅建設の産業モデルは、従来そのままでは事業として成立しにくくなっており、私は戦後続いてきた業界の商習慣という「当たり前」を見直さなければならないと、強く感じています。

永遠に続く事業などありません。業界の大きな問題を解決するために、再定義と革新へ挑戦していくこと。もしそれを怠れば、当社グループの成長の芽は出ないと、常に肝に命じています。

バックナンバーはこちら **8つの経営方針** >
<https://www.msj-group.jp/ir/library/ir-communication/>

